

平成 25 年度 木島小学校の教育活動の評価

【学校評価 P D C A サイクルの更なる実践化に向けて】について

学校自己評価委員会
校長、教頭、○中澤、山田

一学期の反省を二学期にそして、二学期までの反省を来年度の教育活動に活かすために、本年度の教育活動の評価(反省と二学期及び来年度の課題)を次のような評価としてまとめていきます。

1 「教師自身の評価」

- (1) 観点にそって4段階で評価する。(数値化)
- (2) 学校自己評価委員会でまとめ、「木島小学校としての評価」とする。
- (3) より多くの目で学校の教育活動の評価しようとするものとする。

2 「25年度 学級経営の反省(本年度2つの視点)」(様式は「学校自己評価委員会」内)

- ・2学期も同様に12月までをふり返って記入する。

3 平成25年度 教育活動の反省

→フォルダーに一括管理し、必要最小限の加除修正で記入し、来年度に活かすために次のように評価する。

(1) 25年度「学校運営計画」の加除修正→二学期中から加除修正を始めていく。

① 本年度のものを本年度の分掌主任が加除修正し、フォルダー「0 教頭」「25年度学校運営計画」に係ごと word で入力する。(教科経営、係運営等)

② 三学期に、加除修正したものを職員会で検討し、26年度の計画のもととする。

※二学期から分掌の見直しを行うことで新鮮な目で見直し、冬場のスキーや雪対策に追われることなく、次年度の教育活動の構想をある程度固めるために、できる分掌から加除修正をしていく(係案を一括フォルダー内に管理し、教務会で三学期に微修正できるようにする)。

(2) 25年度「分掌の反省」

① 係主任が年度当初のねらいに対して評価をし、反省したものを記入し、word で提出する。

② ファイルは「08 学校運営計画と反省」の中の 24 年度「分掌の反省」を加除修正し 25 年度「分掌の反省」フォルダー内に作成する。

③ 必要により係会を持つ。

④ 「来年度に活かす」という観点で簡潔に記載する。

※来年度の新分掌教職員にとっても参考になるように記載する。

⑤ 学校自己評価の一つとなるので、対外的に公開されることを念頭において反省をする。

⑥ 反省、評価を冊子にし、全職員で確認し合うことで「反省職員会」にする。

4 保護者アンケート

- ・14項目についてアンケートを実施する。

5 児童アンケート

- ・児童が自分自身をふり返るための項目と、児童が教師を評価する項目で実施する。

6 学校関係者評価

- ・学校自己評価を資料として学校評議員に提出し、評価をしていただく。評価していただいた内容を回収し、まとめ「学校関係者評価」を作成する。学校自己評価と学校関係者評価をまとめ、学校評価を作成する。第3回学校評議員会に学校評価としてまとめたものを提出し、検討をいただく。

7 提出期日

- (1) 「教師自身の評価」について …………… 一学期 7月 8日(月)
…………… 二学期 12月 2日(月)
- (2) 「本年度2つの視点」についての反省 …………… 一学期 7月 8日(月)
…………… 二学期 12月 2日(月)
- (3) 「分掌の反省」について …………… 1月10日(金)までに(入力)提出
…………… 1月15日(水)職員会で検討
- (4) 「保護者アンケート」… 11月15日(金)保護者用アンケート配布(児童数)
11月22日(金)保護者からの提出〆切
12月 2日(月)各学級での集計後、係への提出、考察・まとめ
月 日() アンケート結果を家庭へ配布
- (5) 「児童による評価」… 11月29日(金)までに2部提出(11/18配布・この週に実施)
※各学級でまとめ、今後の指導に活かしたり、個別懇談会、学級便りに利用したりする。集計したデータは、係でグラフ化し、学校長へ提出する。
- (6) 「学校関係者評価」… 1月初旬にお願いの通知発送→1月下旬回収→学校でまとめ
※学校関係者評価については、学校評議員の皆さんにお願いする。

8 留意点

- (1) 上記の検討によって本年度の反省及び学校自己評価とする。
- (2) 保護者によるアンケートの回答については、職員会で取り扱い、最終的に校長先生のご指導をいただいて配布するようにする。そのため、年内中に慌てて配布しない方向で進める。
- (3) 12月末の職員会で学校長より示していただく予定の25年度学校経営方針の資料とする。
- (4) 三学期は、次年度に向けての検討会をグループ別に行い、学校長の方針と反省をふまえて、次年度の教育活動への答申及びグランドデザイン作成資料を出していく。